

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	法律的に適切ではあるが、実際の運用面では不足を感じる時もあるので、環境を上手に使えるよう配慮してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	完全なバリアフリーではありませんが、段差は少ない構造となっており、怪我のないよう配慮をつづけてまいります。	オープンな空間ではあるが、子どもにわかりやすい構造化を意識し、配慮してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃・消毒を徹底し、清潔な環境づくりに努めております。 机やイスの移動を含め、活動に応じた空間設定をおこなっています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて、児童が個別の部屋や場所を利用できる環境を整えています。 安心して過ごせる配慮を大切にしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返りに)、広く職員が参画しているか。	7		職員間で周知・意見交換をおこない、朝会など、スタッフ全員に周知したり話し合う機会を設けています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様アンケートを年に1回実施し、自由記述欄の意見も丁寧に確認しています。いただいたご意見は職員会議で共有し、サービス向上に反映しています。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的なミーティングを実施し、職員の意見や提案を積極的に聞き取る場を設けています。 出た意見は速やかに共有し、業務改善に反映しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修への参加を積極的に推奨し、受講後は職員間で内容を共有しています。 法人内でも定期的な勉強会を開催し、知識の向上に努めています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		初回面談や定期的な振り返りを通して、保護者と丁寧に話し合いながらアセスメントを実施しています。 得られた情報をもとに、個別性を重視した支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画の作成時には、担当職員や関係スタッフと情報を共有し、意見交換をおこなっています。 チーム全体で児童の状況を把握し、共通理解のもとで計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画は全職員が閲覧できるように共有し、朝礼やミーティングで内容の確認をおこなっています。 計画に沿った支援ができるよう、日々の支援に反映させています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	日々の活動の中で行動観察をおこない、児童の変化を記録しています。 必要に応じて標準化ツールも活用し、多角的にアセスメントを実施しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインをもとに、児童・家族・移行先・地域支援の観点から計画に反映しています。 個別の状況に応じて、具体的な実行可能な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動プログラムの方向性はスタッフ全員で確認し、役割分担をおこなっています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		さまざまなスタッフがそれぞれの得意な内容のプログラムを実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		こどもの特性に合わせて個別・集団活動を組み合わせ、無理なく支援しています。 支援計画は定期的に見直し、より効果的なサポートを目指しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	集団活動では役割分担や関わり方に工夫を凝らし、無理のない参加を促しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか。	6	1	定期的なモニタリングで支援内容の見直しもおこなっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援記録を細かく残り、振り返りに活用しています。 記録を基に支援内容を見直し、より良い対応を心がけています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的なモニタリングを実施し、支援計画の適正を確認しています。 必要に応じて計画を見直し、より効果的な支援を提供しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童の状況を深く理解したスタッフが会議に参加しています。 関係機関と連携し、支援の質向上に努めています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係医療機関には定期的に訪問し、情報共有や挨拶をおこなっています。 今後は連携をさらに深く、支援体制の強化を目指しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		併行利用や移行支援を通じて、インクルージョン推進に努めています。 関係施設と連携し、情報共有や相互理解を大切にしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	今後就学時の移行にあたり、小学校や特別支援学校と情報共有をおこなっていきたく思っております。 支援内容の理解を深め、スムーズな移行を支援していきます。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言を受けられる機会を設けているか。	6	1	児童発達支援センターと連携しスーパーバイズや助言を受けています。 専門的な支援の質向上に努めています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	現状はそのような機会はないが、今後地域との交流を促していきたいと思っている。	現状そのような機会はありません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日頃から保護者とこまめに情報を共有し、発達状況や課題の理解を深めています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	情報提供を積極的におこない、家族との連携を大切にしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時、モニタリング時、送迎時など必要に応じておこなっています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえ、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援計画作成時には、児童や保護者様ごとの意見を丁寧に確認しています。 最善の利益を優先し、ご意向を尊重した支援を心がけています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援計画を分かりやすく説明し、保護者様から同意をいただいています。 納得いただけるよう丁寧な対応を心がけています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		定期的な家族の相談に応じ、面談や助言を丁寧におこなっています。 子育ての悩みに寄り添い、支援を充実させています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	現状来ていないので今後そのようなことを希望されている保護者様が多数いた場合は開催を検討したいと思います。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご相談やお申入れに迅速に対応できる体制を整備し、周知も徹底しています。 児童や保護者様が安心して相談できる環境づくりに努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		定期的な通信を発行し、紙面やHP、SNSでも活動情報を発信しています。 保護者様への情報共有を大切にし、連絡体制の充実を図っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		障害特性に応じた伝え方や支援ツールを活用し、意思疎通に配慮しています。 児童や保護者様が理解しやすい環境づくりに努めています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域住民を招待するなどはないが、地域との交流を持ちながらの事業運営を目指している。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		各種マニュアルを策定し、職員に周知徹底しています。 緊急時を想定した訓練も定期的の実施し、安全管理に努めています。	
	46	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画 (BCP) を策定し、非常災害に備えています。 定期的な避難訓練や救出訓練を実施し、安全確保に努めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬や予防接種、てんかん発作の状況を事前により確認しています。 安全で適切な支援をおこなうための準備を徹底しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		直接、指示書を確認はできていませんが、保護者様からの伝達を通じて対応しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を作成し、研修や訓練を通じて安全管理を徹底しています。 安心して支援を受けられる環境づくりに努めています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		安全計画に基づき取組内容をご家族に周知しています。 連携を強め、児童の安全確保に努めています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットの内容について、スタッフ全員で周知し、安全の確保に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止のため、職員研修を定期的実施し意識向上を図っています。 適切な対応ができる体制づくりに努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束の基準を組織で明確に定め、事前に児童や保護者に説明し、同意を得ています。 その内容を支援計画にしっかりと記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体でおこなった自己評価です。